

事業評価票

195	「東京防災」の活用・普及 (総務局総合防災部／一般会計)	事業開始	平成 27 年度
		事業終了予定	平成 — 年度

【局評価】

<p>1 どのような経緯で事業を始めたか、何を指すのか</p> <p>○ 今後30年以内に南関東で直下型大規模地震が発生する確率は70%と言われており、首都直下地震への備えは喫緊の課題である。</p> <p>○ さらに、記憶に新しい関東・東北豪雨などの大雨や、局地的な集中豪雨、大型台風の上陸、火山の噴火、新型インフルエンザの流行等、東京は様々な災害の脅威に直面しており、これらの災害の被害を最小限に抑えるためには、都民一人ひとりの力を結集させ、災害対応力を高めていかななくてはならない。</p> <p>○ このような状況下において、一家に一冊常備され都民の防災指針とすべく、「東京防災」の作成を行った。</p>
<p>根拠法令等</p>

<p>2 どのように取り組み、どのような成果があったか</p> <p><取組></p> <p>○ 東京が持つ地域特性を踏まえた防災情報とともに様々な分野の専門家の最新の知見を掲載（都内を109地区に分割、その情報を盛り込んだ地図を作成）</p> <p>○ 若者世代など防災に関心の薄い世代を引き付けるため、多様な媒体による広報や人気漫画家の描き下ろし漫画を掲載</p> <p>○ わかりやすい表現・デザインとするため、イラストやキャッチコピーを多用</p> <p>○ 多様な需要に応えるため、11月から有償頒布を行っている。</p> <p><成果></p> <p>○ ユニバーサルデザインを推進し、情報の「わかりやすさ」に取り組んでいるものとして、「UCDAアワード実行委員会特別表彰」を受賞</p> <p>○ 積極的な広報展開に伴い、各種メディアでも多数取り上げられ、知名度は着実に高まっている。</p>
--

<p>3 どのような課題や問題点があったか</p> <p>○ 都は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を控えており、これを契機に多言語化の取組を進めている。また、都内には40万人を超える外国人が在住しており、大規模災害に備え、外国人にわかりやすく防災の知識を伝えていくことが重要である。このため、都民の防災指針となる「東京防災」についても着実に多言語化対応を図らなければならない。</p> <p>○ 災害時に弱い立場にある障害者の方にも利用して頂くために、音声や点字などを活用して「東京防災」に触れる機会を創出しなければならない。</p> <p>○ 「配布で終わりにしない」ため、「東京防災」の活用をより促進していく必要がある。</p>

<p>4 局として、事業をどうしていきたいか</p> <table border="1"> <tr> <td>拡大・充実</td> <td>見直し・再構築</td> <td>移管・終了</td> <td>その他</td> </tr> </table> <p>○ 27年度に電子版で展開する「東京防災」の中国語版及び韓国版について、パソコン等が使用できない環境の人に対しても普及を図るため、冊子の作成を行う。</p> <p>○ 視覚障害者へ普及を図るため、音声コード添付版を作成したところであるが、同様に、音声コードを使用できない人に対して、点字版の作成を行う。</p> <p>○ 27年度は、「東京防災」の作成、配布に係る広報を中心に実施してきたが、28年度は「東京防災」の日常での活用を促進するための広報展開を図っていく。</p>	拡大・充実	見直し・再構築	移管・終了	その他										
拡大・充実	見直し・再構築	移管・終了	その他											
<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">歳入</td> <td>26年度決算額</td> <td>— 千円</td> <td rowspan="3">歳出</td> <td>26年度決算額</td> <td>— 千円</td> </tr> <tr> <td>27年度予算額</td> <td>— 千円</td> <td>27年度予算額</td> <td>2,220,552 千円</td> </tr> <tr> <td>28年度見積額</td> <td>— 千円</td> <td>28年度見積額</td> <td>390,241 千円</td> </tr> </table>	歳入	26年度決算額	— 千円	歳出	26年度決算額	— 千円	27年度予算額	— 千円	27年度予算額	2,220,552 千円	28年度見積額	— 千円	28年度見積額	390,241 千円
歳入		26年度決算額	— 千円		歳出	26年度決算額	— 千円							
		27年度予算額	— 千円			27年度予算額	2,220,552 千円							
	28年度見積額	— 千円	28年度見積額	390,241 千円										

【財務局評価】

<p>5 財務局として、成果や課題などについて、どう考えたか</p> <p>○ 「東京防災」は都民の防災指針として各世帯に一冊ずつ配布してきたところであるが、都内在住外国人等にも活用を促進することで、地域の防災力の一層の強化を図ることが必要である。</p> <p>○ 想定される首都直下地震への備えとして、都民の防災力が向上するように「東京防災」が長期的に活用される取組を行うことが必要である。</p>
--

<p>6 28年度予算で、どのように対応したか</p> <table border="1"> <tr> <td>拡大・充実</td> <td>見直し・再構築</td> <td>移管・終了</td> <td>その他</td> </tr> </table> <p>○ 障害者対応や多言語版の印刷・配布により、幅広い層への「東京防災」の活用・促進が期待できる。</p> <p>○ 活用促進のための広報を充実させることで、都民の災害への備えとしてより強く防災意識を根付かせることが期待できる。</p> <p>○ 以上を踏まえ、局見積額のとおり計上する。</p>	拡大・充実	見直し・再構築	移管・終了	その他		
拡大・充実	見直し・再構築	移管・終了	その他			
<table border="1"> <tr> <td>歳入</td> <td>28年度予算額</td> <td>— 千円</td> </tr> <tr> <td>歳出</td> <td>28年度予算額</td> <td>390,241 千円</td> </tr> </table>	歳入	28年度予算額	— 千円	歳出	28年度予算額	390,241 千円
歳入	28年度予算額	— 千円				
歳出	28年度予算額	390,241 千円				